

令和2年度

田原市のまちづくり

3月2日(月)に開会した田原市議会第1回定例会の冒頭、山下政良市長は、令和2年度の市政運営を明らかにする施政方針を説明しました。令和2年度予算案も原案通り可決されましたので、施政方針の要旨と新年度予算の概要をお知らせします。

《施政方針の要旨》

わが国の経済は、雇用・所得環境の改善が続き、経済の好循環が進展する中で、内需を中心とした景気回復が見込まれています。

一方、新型コロナウイルスの感染拡大により、中国をはじめとする世界経済の悪化が進みつつあるとともに、国内経済へもその影響が広がりを見せており、先行きが不透明な状況となっています。

こうした中、本市の財政状況は、法人市民税率の引き下げや、合併算定替の縮減による地方交付税の減少などにより、大変厳しい状況にあります。

予算規模が縮小する中で、多様化する市民ニーズに応え、持続的に発展していくためには、これまでの事業やサービスを見直し、限られた財源を効果的に活用していく必要があります。

また、7月には東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催が予定されています。開催に向け、日本中が盛り上がりを見せていくと思いますが、本市にゆかりのある選手の活躍も、大いに期待したいところです。こうした国を挙げてのスポーツの祭典を契機に、本市もスポーツを切り口とした、交流人口の拡大や地域振興をより一層、力強く推進してまいります。

※ ※ ※
昨年は、4月に三河田原駅前に親子交流館「すくっと」を開設し、育児相談や多様な世代の交流の拠点、雨の日の遊び場として、多くの皆さまにご利用いただいています。

また、教育面では、全ての小中学校、保育園へのエアコン設置とトイレの洋式化を行いました。子どもたちの健康を守り、学習環境の充実を図ることができ、大変

うれしく思っています。

一方、市内において家畜伝染病「豚熱^{ぶたねつ}」の感染が確認され、畜産農家の皆さまが非常に大きな被害を受けました。本市では、国や愛知県と連携し、防疫力の向上や風評被害の対策を講じてきたところですが、今後もワクチン接種の費用助成など、農家の皆さまの再建に向けて負担軽減に取り組んでまいります。

※ ※ ※
令和2年度は厳しい財政状況が続く中でも、この地域の強みを生かした魅力あるまちづくりを推進してまいります。市民の皆さまや事業者、団体とのつながりを深め、安心・安全で快適な暮らしの基盤づくりに努め、元氣な渥美半島の実現に向けて取り組んでまいります。

※ ※ ※
これまでに種をまいてきた取り組みが、徐々に芽を出しつつあります。これらの芽が、将来に向けて根付き、さらに花開くよう、令和2年度の予算は新たな時代へと魅力を育む予算として編成いたしました。

子どもからお年寄りまで、市民の皆さまが将来にわたり安心・安全に暮らすことができ、そして、誰もが誇りと愛着を持ち、住みやすさを実感できる、そのような魅力あるまちづくりを思い描き、引き続きさまざまな課題に全力で取り組んでまいります。

市民の皆さまの格別のご理解とご協力をお願い申し上げます。

◆施政方針の全文は、市HPでご覧いただけます。

☎10006859